

新型コロナウイルスの脅威から創造される、新たな価値観について考える 公開シンポジウム「地域で暮らす・働く・創造する」

ポイント

- ▶ 新型コロナウイルスの脅威から生まれた**新たな働き方・暮らし方の価値観**を考える
- ▶ 山口県内の**文化芸術活動の分野**で活躍するキーパーソンが参加
- ▶ **本学大学院生による研究成果も発表**

本学大学院 国際文化学研究科の講義「文化コーディネート論」では、地域のオピニオンリーダー、地域文化のキーパーソンあるいは活性化の推進者などを授業に招き、コーディネーター役の教員とともに文化創造に関する理論と事例などを用いて、グループでの実践的な授業を行っています。

今回は、新型コロナウイルスの脅威から生まれた「新たな生活様式」と今後の地域での生活文化について考える公開シンポジウムを開催します。皆様お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

文化コーディネート論 公開シンポジウム 「地域で暮らす・働く・創造する ～ステイホームで変革されたワーク&ライフスタイル～」について

【日時】 7月22日（水） 18：30～20：00
※18：00 から作品展示も実施

【場所】 山口市菜香亭（山口市天花 1-2-7）

【内容】 シンポジウム出席者

パネラー： 斎藤 郁夫（山口県立美術館学芸参与）
片山 涼子（アトリエ a.p.r 主宰、服飾デザイナー）
「文化コーディネート論」受講生
コーディネーター： 水谷 由美子
（本学大学院 国際文化学研究科 教授）

【注意】 ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。



▲昨年度の様子

【公開シンポジウムに関するお問い合わせ】

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

山口県立大学大学院 国際文化学研究科 教授 水谷 由美子（みずたに ゆみこ）

TEL&FAX：083-928-3423 Email：myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

【本件ニュースリリースに関するお問い合わせ】

法人経営部経営企画部門 担当：新造（しんぞう）

TEL：083-928-3417 FAX：083-928-3464 Email：rshinzo@office.yamaguchi-pu.ac.jp

山口県立大学大学院 国際文化学研究科
2020年度 第2回 山口国際文化学研究会

文化コーディネート論 公開シンポジウム

地域で
暮らす ・ 働く ・ 創造する

ステイホームで変革されたワーク & ライフスタイル

2020.7.22 (水)

開場・展示 18:00~ 開演 18:30~20:00

会場 山口市菜香亭 (山口市天花 1-2-7)

〈パネラー〉

斎藤 郁夫 (山口県立美術館学芸参与)

片山 涼子 (アトリエ a.p.r 主宰、服飾デザイナー)

文化コーディネート論 受講生 (山口県立大学大学院生)

〈コーディネーター〉

水谷 由美子 (山口県立大学大学院 国際文化学研究科 教授)

入場無料・定員50名

主催 山口県立大学大学院 国際文化学研究科

協力 山口市菜香亭

地域で暮らす・働く・創造する ステイホームで変革されたワーク&ライフスタイル

私たちは今、世界中を震撼させる新型コロナウイルスの脅威の中にいる。長期間におよぶステイホームのワーク&ライフスタイルを経て、仕事の仕方、学び方、人と人の繋がり方や楽しみ方、国内外の人々のコミュニケーション、そして地域での暮らし方など、今まで経験したことがないあり方を発見し、新たな価値観を創造しつつある。そこでは、「人とひとの心のふれあい」「家族のあり方」「幸福とは何か」「芸術文化と暮らし」などが課題となっている。

大学院国際文化学研究科「文化コーディネート論」は、4月から大学の教室と山口にいる学生の自宅、さらに未だ中国各地にいる学生の自宅をオンラインでつなぎ進められてきた。学生は講師の提案を受けつつ、日中間の生活文化比較などからヒントを得て、山口発の新しい生活文化創造に挑戦してきた。

皆様お誘い合わせの上ご来場いただきますようご案内申し上げます。

新しい生活スタイルとともにある今後の地域での生活文化についてフロアーからのご意見を期待しています。

2020年7月22日(水)

開場・展示 18:00～ 開演 18:30～20:00

会場 山口市菜香亭

〈プログラム〉

「結びを活かした地域のお守りの開発」

全美思 山本成美 / 国際文化学研究科1年

2020年は世界中が新型コロナウイルスの脅威によって「新しい生活様式」での生活を余儀なくされた。そんな中、日本に住み、山口県で生活している私たちに「文化コーディネート」という形で何ができるか考えた。そこで、山口県での当たり前暮らし、地域の恵みに感謝し、人々の心の拠り所となる、そんな商品の開発を目指した。今も昔も人々を結び、厄を除ける意味を持つ「水引き」と、水引の起源でもある「中国の結び」を活かし、山口県の明るい未来を願うお守りを提案する。

「中国と日本の結婚式文化比較と箸(箸)渡しの提案」

辻本梨紗 馮薪雅 / 国際文化学研究科2年 1年

お箸は大昔から食器として使われている。現在でも東アジア地域を中心に日常生活に広く用いられ、箸は中国と日本においてそれぞれ特別な意味を持っている。特に「箸渡し」としての意味があり、結婚式でお客様へのプレゼントとしての人気もある。

山口ふるさと伝承総合センターでは「大内塗の箸作り体験」がある。大内塗りは国に指定した山口市の伝統工芸であり、大内塗りの工芸で作るお箸を通して、お客様に感謝の気持ちを伝えることができる。

【お問い合わせ】

山口県立大学 〒753-8502 山口市桜島3-2-1

国際文化学部事務室(担当:水谷)

TEL: 083-928-3423

Email: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

山口県立大学大学院事務室 TEL: 083-929-6525

「地域社会における文化的実践」

齋藤郁夫 / 山口県立美術館学芸参与

すでに文化芸術基本法が制定され、「文化的なもの+芸術」に対する行政や一般の理解が大いに深まることが期待されている。経済成長をめざす現代社会のあり方とは別な私たちの人生の幸福の回路が存在することを、文化施設の取り組みや個人の文化的実践の実例を通して、考えてみたい。

「海を渡る着物リメイク」

片山涼子 / アトリエ a.p.r 主宰 服飾デザイナー

日本伝統の技術が生きる着物。その魅力に魅せられて始めた着物リメイクの創作活動も10年を超えた。マレーシアでの自身の新作コレクション発表や、ドバイでのパーティー用ドレス、ニューヨークでのコンサート講演用衣装など、自身の作品が海を渡ってより多くの人々の目に触れる機会が増えてきた。着物リメイクを通して日本の魅力が再認識される。これは永遠に続いてほしい私のものづくりの目標のひとつだ。

【アクセス】



山口市菜香亭 〒753-0091 山口市天花1-2-7

TEL: 083-934-3312

*ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。